

伊那谷アグリイノベーション推進機構設立準備会

第2回シンポジウム

伊那谷の将来に向けた信大シーズの活用を考える

平成24年 12月18日(火) 13:30～

場所: 飯田女子短期大学講堂(交流会: 飯田女子短期大学食堂)

主催: 伊那谷アグリイノベーション推進機構設立準備会

シンポジウム参加費無料(交流会参加費は別途必要です)

参加登録をお願いします。裏面の案内に従ってお申込み下さい

伊那谷アグリイノベーション推進機構設立準備会では、平成25年の機構設立に向け活動を進めています。機構の方向性を見出すために、本年度全3回のシンポジウムを計画しています。

今回のシンポジウムは、第2回目として、飯伊地域で推進しているメディカルバイオクラスター活動のキックオフシンポジウムも兼ねて飯田市で開催いたします。医療関係者、製造者、生産者、きのご関係者、消費者、行政、団体、大学等多くの分野からご参加いただき、多面的な意見を頂きながら、課題と今後の方向性を探る場としたいと考えています。多くの方に御参加いただきたく、ご案内いたします。

開会(13:30～14:30)

- 開催市長挨拶 牧野光朗氏(飯田市長)
- 趣旨説明「センターオブコミュニティ(COC)としての信州大学農学部」
中村宗一郎氏(信州大学農学部長)
- 行政からの機構・信大への期待
石田訓教氏(下伊那地方事務所長)
青木一男氏(上伊那地方事務所長)

基調講演(14:30～15:20)

- 演題「天然物ケミカルバイオロジーの最先端」
講師 半田宏氏(東京工業大学大学院生命理工学研究科 教授)

パネルディスカッション(15:30～16:45)

- テーマ「生命科学、食品科学と地域産業」
研究内容紹介「マツタケに代表される菌根菌の人工栽培」
山田明義氏(信州大学農学部 准教授)
- 座長 中村宗一郎氏(信州大学農学部長)
- パネラー 半田宏氏(東京工業大学大学院生命理工学研究科 教授)
山田明義氏(信州大学農学部 准教授)
村澤久司氏(旭松食品(株) 研究所長)
羽生尚広氏(多摩川精機(株) バイオロニクス研究所長)
桜井俊美氏(みなみ信州農業協同組合 きのご部会長)

今後の展開に向けてのトーク(16:45～17:00)

- 萩本範文氏(多摩川精機(株)社長、飯田メディカルバイオクラスター会長)
「飯田メディカルバイオクラスター活動について」
駒ヶ根地区代表者
「第3回シンポジウム開催と機構・信大農学部への期待」
向山孝一氏(伊那谷アグリイノベーション推進機構設立準備会会長)
「推進機構準備会今後の展開について」

<交流会>(17:15～18:30)

参加者相互の親睦と情報交換(参加費2,000円) ノンアルコールとなります。

